



市議会9月定例会が始まりました

9月2日に開会した市議会9月定例会に提案した、新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン関連予算などの主な内容をお知らせします。

9月3日可決案件

キャッシュレス決済でポイント還元

中小企業支援策として、12月中に対象店舗でキャッシュレス決済を利用した人に対し最大30%のポイント還元。
15億3520万円

中小企業等チャレンジ補助金を支給

中小企業などの新分野展開や生産性向上などに資する事業計画策定や設備投資を支援するための補助金。
5240万円

小学生の給食費を無償化、中学生は半額に

10月～3月の小学生の給食費を無償化し、中学生の給食費を半額補助。
5億5102万円

その他提案案件

公共交通事業者に感染症対策などに係る費用を補助

緊急事態宣言中の平日ダイヤでの運行継続に要した経費や感染症対策経費を補助。
5560万円

生活介護事業所などの生産活動を支援

障がい者の生産活動収入が相当程度減収している事業者に対し、存続、再起、転換などに必要な費用を補助。
200万円

小中学校が実施する修学旅行などにおける感染症対策などに係る経費を補助

修学旅行などを延期、中止した場合のキャンセル料や感

感染症対策に要する費用などを補助

施設などに自動水栓の導入、検温計・消毒液の購入など。
1億6478万円

施設などに感染防止用物品の購入など

施設などに自動水栓の導入、検温計・消毒液の購入など。
3億8914万円

地元アーティストの支援

地元アーティストなどを支援するために、メイシアターで実施するコンサートに係る委託料。
330万円

園などの遊具の更新

利用申請のWEB申し込み、図書館借出カードを電子機器などで表示するためのシステム改修。
4958万円

電子書籍コンテンツ数の拡充

電子図書館サービスにおける電子書籍コンテンツ数の拡充。
1億1220万円

健都プラットフォーム構築支援業務

健都における産学官民連携の仕組みの構築に向けた業務委託料。
550万円

市長コラム No.74

こもれび通り

後藤圭二



あの日のひよこたち



コラムの音声版はこちら

小学生のころ、段ボールいっぱいひよこをうどんで釣り上げる「ひよこ釣り」が、学校の正門前に時折出店されていました。

ある日、兄と6羽も釣り上げ意気揚々と帰宅。そりゃ親に「一体どーするの!」と怒られますよね。兄弟の懇願に負けて飼うこととなった6羽の雄たちは、すくすくと育ち、程なく若鶏になりました。

彼らは、早朝から「コケッコー!」と大声で鳴き始め、近所迷惑に。親は、若鶏をペットとしてかわいがっているわが子に、飼育断念をどう伝えようかと悩んだことでしょう。

「これ以上飼えないので、市場のかしわ屋さん(鶏肉

専門店)に引き取ってもらおう」との宣告を親から受け、兄弟で泣きました。6羽の若鶏を詰め込んだ段ボール箱を手に「ただ死ぬのではない。ありがたく命を頂くのだよ」との店主の説得もうわのそら。帰り道、空になり置かれた段ボール箱を抱えたとき、命の重さを身にしみて感じたことを今でも鮮明に覚えています。

小さな命を守れなかったことへの怒りと後悔、みずからの弱さに落ち込んだ体験は、私にとって苦しい「命の授業」でした。その後、私はシートン動物記、ファーブル昆虫記に夢中になり、動物生態学を専攻します。

心に刻まれる「授業」には一人の人生を変える力があるのですね。